

# 青森県U12カテゴリーインテグリティについて

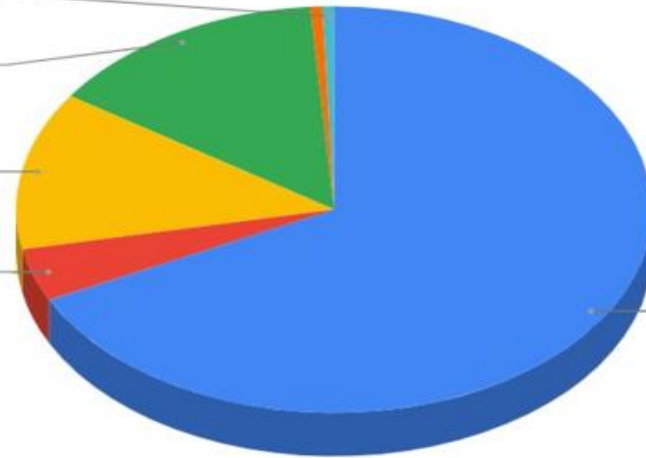


- 1. インテグリティの周知を行い、子供たちが健やかに楽しくバスケットボールを行える環境づくりを行う。**
- 2. 暴言、暴力の根絶に向けて指導者の意識改革を行う。**
- 3. U12カテゴリーでは移籍理由として「人間関係」が多いため改善していく必要がある。**
- 4. チーム運営の参考となるよう研修会を実施。**

通報累計: 171件 ※昨対比 約206%増

種別

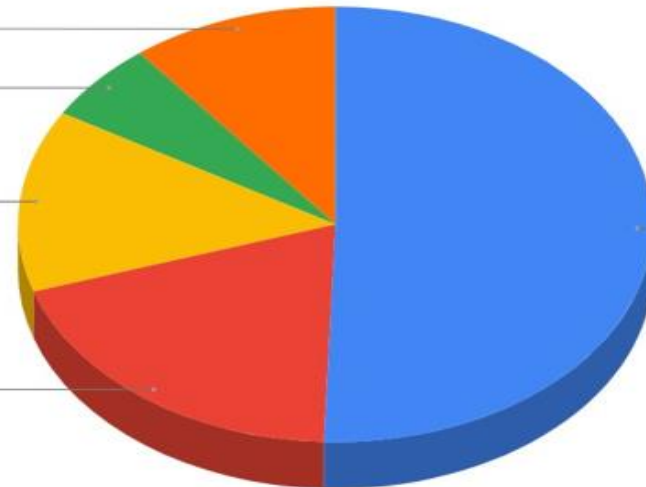
U15  
0.6%  
U18  
14.4%  
U15  
12.6%  
一般  
4.2%



U12  
67.7%

分類

その他  
10.6%  
不適切行為  
5.9%  
暴力  
13.5%  
ハラスメント  
19.4%

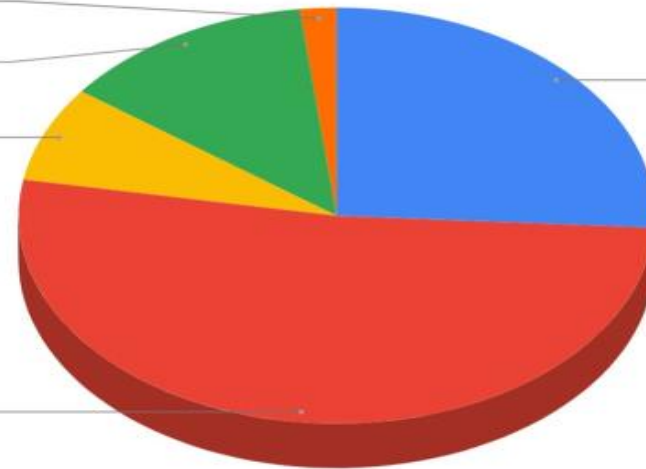


暴言  
50.6%

通報累計: **115件** (2023年12月31日現在)

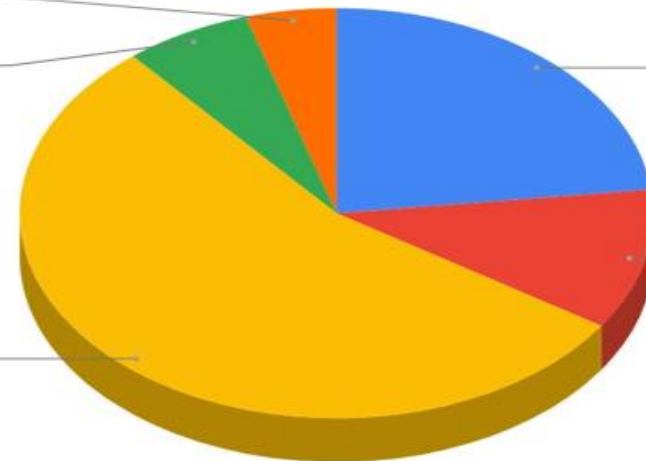
種別

大学  
1.9%  
U18  
13.0%  
一般  
7.4%



分類

不適切行為  
4.6%  
その他  
6.5%

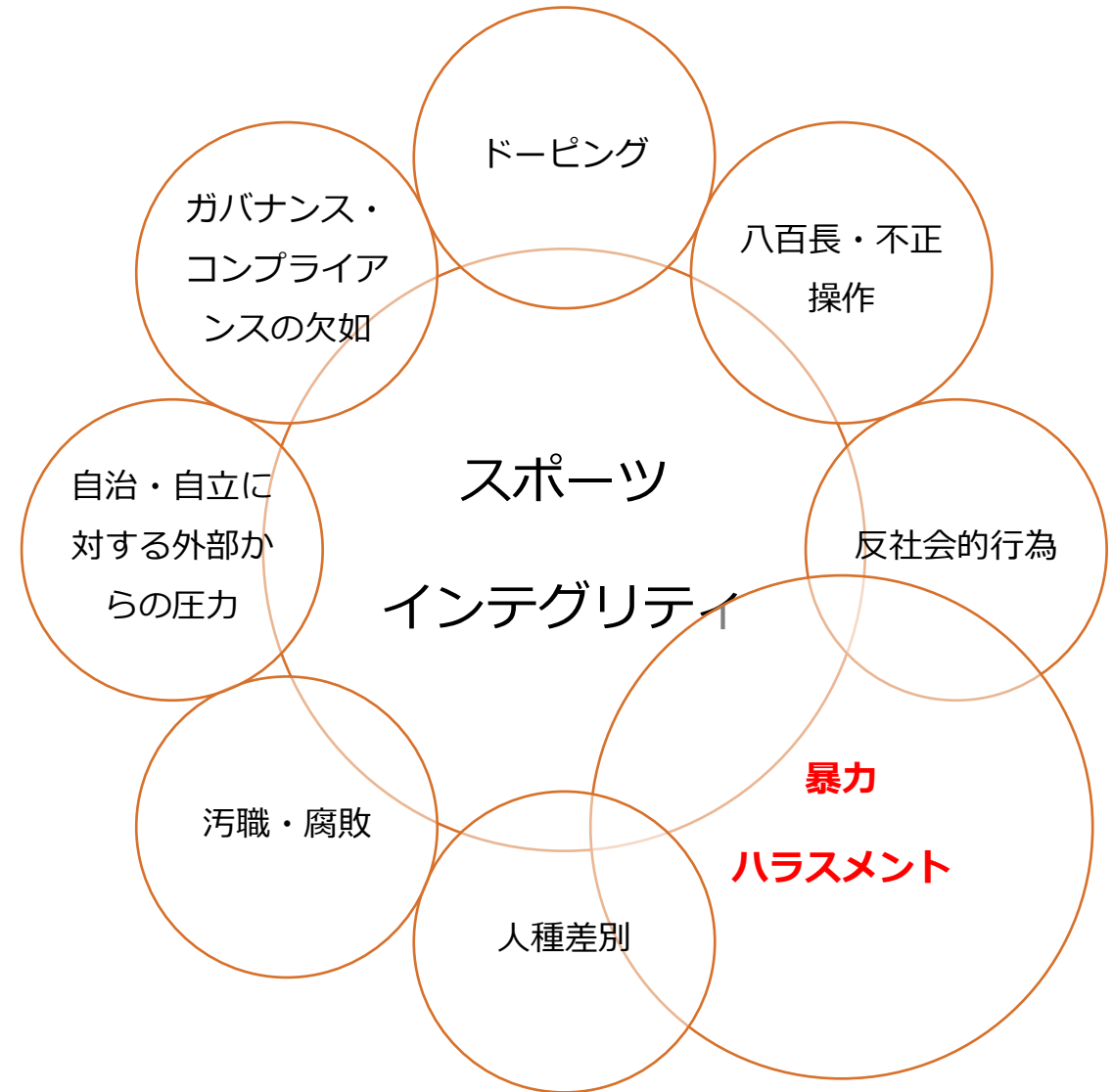


# インテグリティについて

「インテグリティ」とは  
誠実さ・真摯さ・高潔さを表す  
言葉です。

一人一人が高い意識を持つこと  
で、規律、裁定案件を未然に防  
ぎJBA指針の

「クリーンバスケット、クリー  
ン・ザ・ゲーム」に則り、暴言  
暴力根絶を目的としています。



# 暴言暴力根絶へ向けて

～指導のつもりで暴言を吐いていませんか？～

人格を否定するような言葉は特に気を付けなければなりません。  
自分は一生懸命指導をしているだけだ、と本人は思っていたが  
第三者から見た場合、明らかに暴言だと認識される場合もあります。  
自分の気づかないうちにこういった言葉を発してないか、いままでの指導方法を正当化せず  
客観的に見つめ直してみてください。

例

◇大きな声での指導◇

行き過ぎた大きい声は選手を委縮させ、周りの目を意識しすぎてしまうこともあります。大声を繰り返し、コントロールするようなことはあってはなりません。

◇人格、人権、存在を否定する言葉◇

「そんなこともできないのか。」「へたくそ」などは人格否定の言葉です。感情が先走った発言をしないよう注意してください。

# 暴言暴力根絶へ向けて

## U12育成世代で重要なこと

U12世代は勝利主義ではなく、バスケットボールを通じて元気になり、のびのびと取り組める環境作りが大切だと考えます。

子どもたちの「楽しさ」の気持ちを中心に、試合に勝つことだけでなく、上達して褒められたとき、仲間と一緒にプレーしてるとき等、子ども一人一人の「楽しさ」を認め、見守ってください。

大人たちは安心安全な暴言暴力のないバスケットボール環境の実現を目指してください。

スポーツは嬉しさだけでなく、うまくいかない挫折も経験します。仲間との人間関係から生まれる絆、チームルールを守ることで身につく規範意識など、様々な経験をすることができます。

1つ1つの成功体験が大切です。その数をより多く体験できるような環境づくりを心がけましょう。そしてその経験を少しずつ大きくしましょう。

国際オリンピック委員会では「それぞれの成長度に合わせ、練習やトレーニングにアプローチしていくべき」と提言しています。

# JBA U12カテゴリー指導行動の指針

## <やってほしいこと>

- ・ はげます
- ・ 元気づける
- ・ 委ねる
- ・ 引き出す・導く
- ・ 判断させる
- ・ 主体性を育てる



### U12カテゴリー「指導行動の指針」

JBA U12カテゴリー部会

U12カテゴリーから「暴言・暴力」を根絶し、子どもたちが「楽しく」プレーできる環境をつくるため、指導者の皆さんには「指導行動の指針」として、つぎのことを意識して、指導に当たっていただきたいと思えます。

#### <やってほしいこと>

- ・ はげます
- ・ 元気づける
- ・ 委ねる
- ・ 引き出す・導く
- ・ 判断させる
- ・ 主体性を育てる



#### <やってほしくないこと>

- ・ 怒る
- ・ 怒鳴りつける
- ・ 指示ばかりする
- ・ 威圧する
- ・ 判断させない
- ・ 支配する



みなさんの指導は  
どうですか？

## <やってほしくないこと>

- ・ 怒る
- ・ 怒鳴りつける
- ・ 指示ばかりする
- ・ 威圧する
- ・ 判断させない
- ・ 支配する





# JBA U12 カテゴリー指導行動の指針

## <スポーツマンシップ>

・ 礼儀 ・ 生活習慣 ・ 自分で考える習慣 ・ 多様性

- ・ 楽しいと思わせる
- ・ 楽しむことを忘れずに
- ・ 共に学ぶ
- ・ お互いにリスペクトの精神
- ・ 主体性を育む
- ・ ×勝利至上主義→○成長至上主義
- ・ 失敗ではなく、経験を積んでいる
- ・ バasketボールで人を育てる



みんなで楽しく  
バスケットをしよう！



# 移籍について

- [JBAU12カテゴリー移籍ガイドライン](#)に則った手続きをお願いします。
- ※県協会から承認の連絡前にTeamJBAで申請を行っても却下せざるを得ません。
- ※移籍の承認にはお時間がかかります。

～下記ガイドラインからの抜粋 承認の目安～

移籍申請書 受付期間		結果通知（目安）	TeamJBA 登録手続き
4月～1月	各月 1日～15日	申請翌月の 1日頃	承認後、原則 14日以内
	各月 16日～月末	申請翌月の 15日頃	承認後、原則 14日以内
2月～3月	2月 1日～3月 31日	翌年度の 4月 15日頃	承認後、原則 14日以内

# 移籍について注意点

- U12カテゴリーでは同じ環境で継続的に育成されることが望ましいが、勝利主義により移籍を行う事例がある。強化を目的とした移籍は本来認められないため、人間関係を理由として意図的に移籍申請を行うことがある。
- 指導者が保護者に対して「トラブルが起きた事にすれば、移籍ができる」とうようなアドバイスを行っている。
- ○○の大会に出場したいから、早く承認して欲しい等、特別な処遇を求める。ガイドラインに沿って提出すべきであり、個別対応は出来かねるので改めて周知徹底を行う。
- 移籍元からの承認をもらうのが億劫という理由で、漢字を一字変え、二重登録をすり抜け登録されている事例があった。「例：澤→沢」
- 一度、競技者登録した選手はずっと同じIDを使用して登録を行う必要がある。U12カテゴリーの移籍のみならず、U15カテゴリーへ上がる場合も同じIDとなるので、チーム責任者のみならず、競技者も必ず自身のIDを把握していること。

チーム規約は作成されているか。

- ・選手の負担にならない時間帯、練習日数となっているか。
- ・万が一、問題が起こった時には責任の所在者は明確になっているか。
- ・チーム責任者は指導者？ 保護者？ TeamJBA上のチーム責任者と実際の代表者が異なる場合がある。
- ・指導方針や会計報告など定期的に行われること。

# チーム運営について（会計）

集金は銀行振込などで必ず記録が残るようにする。

少なくとも年に1回は会計報告を行い、第三者が監査を行うこと。

以下の3つの役割は出来る限り別々の担当者とする。

- 「モノの購入・管理担当」

チームで必要な備品やグッズなどの在庫や保管場所、および補充を決める。

- 「お金担当」

現金や銀行口座の管理、経費発生やモノの購入の時に実際にお金を支払う

- 「会計記帳担当」

お金を受け取ったり支払いなどでお金が動いたときに、その記録を会計帳簿に行う。

実際には人員不足により難しい場合も想定されます。その場合は「お金担当」だけは独立させるよう努めてください。